

令和2年度かいぼり結果概要報告【水元公園：現況保存池】

1. かいぼりの概要

【実施日】 令和2年12月5日

【天候】 雨、曇り

【生物調査参加者数】

ボランティア20人・関係者約27人

2. 結果概要

【水質】 かいぼり後は、透視度が上昇するとともに、SSが減少しました。また、COD、BOD、T-N、T-P、がすべて低下し、DOは若干ですが上昇しました。
底泥の除去、天日干しにより池底への酸素供給や水の入替えを行ったことで、透視度が上り、水質の改善が大きく図られたと考えられます。

【水生生物】 かいぼりでは、重要種である、テナガエビ、スジエビなど確認されています。また、特定外来生物に指定されている、カダヤシ、ウシガエル、ブルーギルなどが確認されており、今後も池の生物を見守って行く必要があります。

3. 調査結果

水質

項目	単位	令和2年度	
		かいぼり前	かいぼり後
調査日		R2.7.31	R3.2.25
天候		曇	晴
気温	°C	27.5	11
水深	m	—	—
水温	°C	26	7
透視度	cm	13	32
ORP(酸化還元電位)	mV	+327	+414
pH(水素イオン指数)		8.8	8.4
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	28	8.9
BOD(生物化学的酸素消費量)	mg/L	12	3.4
T-N(全窒素)	mg/L	2.44	0.68
T-P(全リン)	mg/L	0.251	0.12
DO(溶存酸素)	mg/L	11.3	12.8
SS(浮遊物質)	mg/L	42	17

捕獲した生物と個体数

和名	令和2年度		重要種		外来種 ※3
	かいぼり前	かいぼり時	環境省RL (2020) ※1	東京都RDB (2013) ※2 区部	
	R2.7.20	R2.12.5			
エビノコバン		27			
カワリヌマエビ属	4	112			○
ヌカエビ		14			
テナガエビ		1		留意種	
スジエビ	2	299		留意種	
チュウゴクスジエビ		938			○
アメリカザリガニ	49	197			○
ギンブナ		131			
モツゴ	47	9799			
カダヤシ	4	1849			○
ブルーギル		50			○
カムルチー		4			○
ヨシノボリ属		38			
トウヨシノボリ類	12				
ウシガエル	7	446			○
クサガメ		3		DD	○
ミシシippアカミミガメ		26			○

かいぼり前・かいぼり後はサンプリング調査、かいぼり時は全数捕獲

※1 環境省レッドリスト2020 ※2 レッドデータブック東京2013
※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと

